

北海道における小水力発電普及による 地球温暖化防止推進事業

ひろげる助成

3年目

実践

フォローアップ講座参加者 13人

北海道小水力
フォーラム参加者 114人

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 100%



リージョナルコーディネーター養成講座

課題

CO₂を出さない優れたエネルギー源の小水力発電だが、地域でサポートし事業化の推進を行う開発支援人材が育成されておらず、事業化に関する情報も圧倒的に不足している。

目標

①育成講座により5人が廃止発電所の調査可能になる ②廃止発電所調査結果より小水力事業化検討 ③小水力フォーラム開催、開発推進のプラットフォーム組織の立上げ

活動内容と成果

①昨年応用講座を受講した18人中、13人が受講し座学と流量観測の現場研修を実施し、90%の受講満足度を得た ②9か所の廃止発電所をリサーチし、昨年度までのリサーチ情報と合わせてマップによるデータベースを作成した。また、有望地として確認できた登別市鉾山町においてリージョナル・コーディネーターの実地教育を兼ね、当該地区を実証フィールドとして、簡易流量観測を実施した ③フォーラム2019は目標の100人を超える114人が参加して開催した。参加者からも今後も情報発信を期待する声をアンケートで頂いた。



廃止発電所リサーチ現場

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

①受講生の日程調整と研修内容 ②廃止発電所の調査にあたり文献調査の不足分を地元役場・学芸員へのヒアリング ③登壇者の日程調整とブラックアウトを体験してのテーマ追加

■工夫した点

①講座に事業開発の胆となる流量観測体験を盛り込んだ ②近隣の長老を訪ね案内して頂いた ③フォーラム会場に質問用紙を配布回収し、パネルディスカッションで活用した



フォーラムでのパネルディスカッション

全助成期間の活動を振り返って

①基礎・応用・フォローアップ講座のすべてを受講した人材を13人育成することができ、すでに地元で開発事業に取り組む人材も現れた。フォーラム等でも受講生間で情報交換がなされ、着実に進歩している ②39か所の廃止発電所のマップを作成し、地方自治体等への提案準備ができた。また、開発の胆となる簡易流量観測を体験することができた ③計281人の参加者に対し、様々な切り口から情報発信することができた

活動地域 | 北海道札幌市、登別市他

〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西5丁目6-1

ストークマンション札幌205号室

電話：011-223-2062

E-mail：info@reoh.org

http://www.reoh.org/



今後の
展望

リージョナルコーディネーター育成講座の受講生を対し、地元で開発支援事業に取り組む人材と共働し、北海道でのモデルをつくっていききたい。廃止発電所データベースを活用し自治体・農協等に情報提供を行い、開発提案につなげていきたい。フォーラム参加者に対して、メール等で情報発信をしつつ継続的なフォーラムを開催し、再生可能エネルギーの普及支援と事業開発につなげていきたい。